

令和6年度大分市学力向上アクションプラン

大分市教育委員会

1 基本的な考え方

本市では、「確かな学力の定着・向上」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」をバランスよく推進し、主体的、創造的に生き抜く子どもの育成を目指した教育の創造に努めています。とりわけ、「確かな学力の向上」は、本市教育委員会において重要な課題であり、各種学力調査で明らかになった課題の解決に向け、実施教科だけではなく、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等、学校の教育活動全体を通して取り組む必要があります。

こうしたことから、学校、家庭、地域社会が一体となった取組を推進するため、国、県、市主催の調査結果（※）を併せて一つの資料として掲載し、本市の子どもたちの学力の状況を明らかにするとともに、従来からの本市の学力向上に関する取組や、調査結果の分析を踏まえた今後の改善方策等を示した学力向上アクションプランを作成しました。

また、文章中の小学校には義務教育学校の前期課程を、中学校には後期課程を含むものとしております。

2 本市の学力等の状況【令和5年度】

（1）各種学力調査の結果

○全国学力・学習状況調査 <市内全小中学校が対象>

実施学年	小学校 第6学年				中学校 第3学年		
	国語		算数		国語	数学	英語
大分市平均正答率	69		66		68	49	42
全国平均正答率	67.2		62.5		69.8	51.0	45.6
全国との差※	+		+		-	-	-

※全国学力・学習状況調査については、各県や市の正答率は整数値で、全国の前答率は小数第1位までの値で公表のため、実際の数値における全国との差を+-で表記。

○大分県学力定着状況調査 <市内全小中学校が対象>

実施学年	小学校 第5学年						中学校 第2学年									
	国語		算数		理科		国語		社会		数学		理科		英語	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
大分市偏差値平均	51.2	51.3	52.2	52.1	50.6	51.2	51.7	51.2	51.9	50.6	50.8	50.8	51.3	49.9	50.8	50.6
全国との差	+1.2	+1.3	+2.2	+2.1	+0.6	+1.2	+1.7	+1.2	+1.9	+0.6	+0.8	+0.8	+1.3	-0.1	+0.8	+0.6

※大分市標準学力調査及び大分県学力定着状況調査については、全国平均を偏差値50とし、全国との差を、+-で表記。

○大分市標準学力調査 <市内全小中学校が対象>

実施学年	小学校 第4学年						中学校 第1学年									
	国語		算数		理科		国語		社会		数学		理科		英語	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
大分市偏差値平均	51.2	51.0	51.8	51.2	50.9	51.3	52.1	50.3	51.2	50.0	52.1	50.8	52.1	52.0	51.7	51.3
全国との差	+1.2	+1.0	+1.8	+1.2	+0.9	+1.3	+2.1	+0.3	+1.2	±0	+2.1	+0.8	+2.1	+2.0	+1.7	+1.3

(2) 全体概要

各種学力調査の結果から、学年や教科によって若干の差はあるものの、本市の児童生徒の学力は概ね全国平均と考えられる。

- <小学校> 4年 国語(基礎)、国語(活用)、算数(基礎)、算数(活用)、理科(基礎)、理科(活用)の全てにおいて全国を上回っている。
 5年 国語(知識)、国語(活用)、算数(知識)、算数(活用)、理科(知識)、理科(活用)の全てにおいて全国を上回っている。
 6年 国語、算数の全てにおいて全国を上回っている。
- <中学校> 1年 国語(基礎)、国語(活用)、社会(基礎)、社会(活用)、数学(基礎)、数学(活用)、理科(基礎)、理科(活用)、英語(基礎)、英語(活用)の全てにおいて全国を上回っている。
 2年 国語(知識)、国語(活用)、社会(知識)、社会(活用)、数学(知識)、数学(活用)、理科(知識)、英語(知識)、英語(活用)において全国を上回っている。理科(活用)においては全国を下回っている。
 3年 国語、数学、英語の全てにおいて全国を下回っている。

(3) 各学年における教科、領域別等の傾向 ※偏差値又は平均正答率との比較

学年	教科、領域別等の傾向	
小4	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」において全国を上回っている。また、「我が国の言語文化に関する事項」において全国を下回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では「情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら話すこと」などにおいて課題が見られる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「数と計算」「図形」「データの活用」において全国を上回っている。また、「変化と関係」において全国を下回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では「示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、小数の減法を整数の減法に直すこと」などにおいて課題が見られる。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「物質・エネルギー」「生命・地球」ともに全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では「簡易検流計のつなぎ方の誤りを説明すること」などにおいて課題が見られる。
小5	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」において全国を上回っている。また、「我が国の言語文化に関する事項」において全国を下回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では「司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目して、考えをまとめること」などにおいて課題が見られる。

小5	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」全てにおいて全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では、「伴って変わる2つの数量の関係を式に表すこと」などにおいて課題が見られる。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「物質・エネルギー」「生命・地球」全てにおいて全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では、「空気のあたたまり方を理解すること」などにおいて課題が見られる。
小6	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均正答率を上回っている。 ○領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「わが国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」などにおいて課題が見られる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均正答率を上回っている。 ○領域別では、「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では、「正三角形の意味や性質について理解すること」などにおいて課題が見られる。
中1	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」全てにおいて全国平均を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では、概ね全国を上回っているものの、小問別では「読み取った内容を明確にして書くこと」などにおいて課題が見られる。
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題は全国を上回っている。「活用」に関する問題は、全国と同値となっている。 ○領域別では、「地理」「歴史」において、ともに全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」において全国を上回っている。「主体的に学習に取り組む態度」においては、全国と同値となっている。 ○小問別では、「世界のさまざまな宗教について、宗教の特色についての理解をもとに判断すること」などにおいて課題が見られる。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「数と式」「図形」「関数」全てにおいて全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では「事象を数学的に解釈し、合計の個数の、1個の重さの違いによる差を数学的に説明すること」などにおいて課題が見られる。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「エネルギー」「粒子」「生命」において全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では「酸素と二酸化炭素の水への溶けやすさからペットボトルの変化を推測すること」などにおいて課題が見られる。
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」全てにおいて全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では、「メールから必要な情報を読み取り、その内容をふまえて返信すること」などにおいて課題が見られる。

中 2	国語	<p>○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。</p> <p>○領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」において全国を上回っている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。</p> <p>○小問別では、「自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えること」などにおいて課題が見られる。</p>
	社会	<p>○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。</p> <p>○領域別では、「歴史」「地理」において、ともに全国を上回っている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の全てにおいて全国を上回っている。</p> <p>○小問別では、「アフリカ州・南アメリカ州の産業の特色について、複数の資料をもとに判断することなどにおいて課題が見られる。</p>
	数学	<p>○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。</p> <p>○領域別では、「数と式」「関数」「資料の活用」において全国を上回っている。「図形」においては、全国と同値となっている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」全てにおいて全国を上回っている。</p> <p>○小問別では「角の二等分線の性質を理解し、折り目の線を作図すること」などにおいて課題が見られる。</p>
	理科	<p>○「知識」に関する問題は、全国を上回っている。「活用」に関する問題は、全国を下回っている。</p> <p>○領域別では、「粒子」「生命」「地球」において全国を上回っている。「エネルギー」においては全国を下回っている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」において全国を上回っている。「主体的に学習に取り組む態度」においては全国を下回っている。</p> <p>○小問別では、「モデル実験における、条件のちがいが何を意味しているかを解釈し、説明すること」などにおいて課題が見られる。</p>
	英語	<p>○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。</p> <p>○領域別では、「読むこと」「書くこと」において全国を上回っている。「聞くこと」においては全国と同値となっている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の全てにおいて全国を上回っている。</p> <p>○小問別では、「対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書くこと」などにおいて課題が見られる。</p>
中 3	国語	<p>○全国平均正答率を下回っている。</p> <p>○領域別では「我が国の言語文化に関する事項」において全国を上回っている。「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」において、全国を下回っている。</p> <p>○小問別では、「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること」などにおいて課題が見られる。</p>
	数学	<p>○全国平均正答率を下回っている。</p> <p>○領域別では、「データの活用」において全国を上回っている。「数と式」「図形」「関数」においては、全国を下回っている。</p> <p>○小問別では、「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること」などにおいて課題が見られる。</p>
	英語	<p>○全国平均正答率を下回っている。</p> <p>○領域別では、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の全てにおいて全国を下回っている。</p> <p>○小問別では、「日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと」などにおいて課題が見られる。</p>

(4) 生活習慣や学習環境に関する調査結果の分析

【学習習慣等】

学習習慣等については、家庭学習をするときに、自分で計画を立てて取り組んでいる（学校の授業の予習や復習を含む）児童生徒の割合は、小中学生ともに全国平均を上回っている。また、読書について、授業時間以外の平日の読書時間は小中学生ともに全国平均以上となっている。

今後も、学校図書館等を活用し、読書の楽しさを伝えるとともに、授業内容の復習を家庭学習の課題に位置付け、授業での学習内容と関連付けて、家庭学習の質の向上に努め、学力の定着・向上を図る必要がある。

【授業改善等】

授業改善等については、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童生徒の割合は、小学校では全国平均を上回っているものの、中学校では下回っている。また、小学校において、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている児童の割合は80.6%と全国平均を下回っている。中学校において、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文書、話の組み立てなどを工夫して発表した生徒の割合は53.8%と全国平均の62.1%を下回っている。

今後は、質の高い授業の創造に向け、児童生徒から問題意識を引き出し、必然的に追究したくなるめあてや課題を設定するなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める必要がある。

【基本的な生活習慣、社会に対する興味・関心】

基本的な生活習慣については、規則正しい生活を送っている児童生徒の割合は、小学校では全国平均を上回っており、中学校では概ね全国平均となっている。社会に対する興味・関心について、地域の行事への参加率は、小学校は概ね全国平均と同等であるが、中学校は全国平均をやや下回っている。また、地域や社会をよくするために何かしてみたいと考える児童生徒の割合は、小中学校ともに概ね全国平均となっている。

今後も、学校、家庭、地域社会が一層連携・協力して、子どもの基本的な生活習慣の確立や社会に対する興味・関心を高める教育活動の充実に努める必要がある。

【自尊感情、規範意識等】

自尊感情、規範意識については、自分には、よいところがあると考えた児童生徒の割合は、小中学校ともに全国平均を上回っている。また、いじめはどんな理由があってもいけないことだと考える児童生徒の割合についても、小中学校ともに全国平均を上回っている。

今後も、学校、家庭、地域社会の連携を図りつつ、道徳教育に係る学校や学年ごとの重点目標の明確化、教材の充実、体験活動の推進等、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて、豊かな人間性や社会性を育む道徳教育の一層の充実に努める必要がある。

【校種間連携】

校種間連携については、学力調査の分析結果をもとに、近隣の小中学校と教育目標及び成果や課題を共有し、合同研修や授業研究を実施している学校の割合は、全国平均を大幅に上回っており、小中一貫教育の取組が充実している。また、教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合は、小中学校ともに全国平均を下回っている。

今後とも、義務教育9年間を見通した系統的な教育を行う小中一貫教育の一層の推進を図るとともに、教育課程の趣旨や目指す子ども像について保護者懇談会や学校運営協議会等において家庭や地域と共有し、学校や地域の実情を踏まえた特色ある教育課程となるよう見直し、改善するなど、より一層「社会に開かれた教育課程」の実現に努めることが必要である。

3 目標

大分市標準学力調査、大分県学力定着状況調査、全国学力・学習状況調査において、全ての実施教科の結果が、全国平均以上。

4 具体的な学力の定着・向上の取組

(1) 小中一貫教育の推進

義務教育9年間を見通した系統的な教育を行うことにより、「確かな学力の定着・向上」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」をバランスよく推進し、生きる力を育成する。

- ① 市内全小中学校において学校、地域の実情に応じた小中一貫教育を推進する。
 - 学校や地域の特色を生かし、9年間を見通した系統的な教育課程の編成、実施、改善
 - 小中合同授業研究会等を通じた組織的な授業改善
 - 小中一貫教育の取組状況、成果・課題の検証結果及び今後の取組について、家庭や地域社会への積極的な情報発信（学校ホームページや広報紙の充実）
- ② 小中一貫教育モデル校等において研究の推進及び成果の還元を行う。
 - 1中1小モデル校 吉野・竹中・佐賀関・野津原中学校区
 - 1中複数小モデル校 鶴崎・大在・植田東・坂ノ市中学校区
 - 実践発表校 1年次：上野ヶ丘・明野中学校区
 2年次：城南・滝尾中学校区 3年次：城東・東陽中学校区
 - 大分市小中一貫教育校 賀来小中学校、神崎小中学校
 - 義務教育学校 碩田学園

(2) 大分っ子基礎学力アップ推進事業

- ① 基礎学力向上研究推進校
基礎学力向上研究推進校（2年間指定、小学校4校、中学校2校）を指定し、子どもの実態を的確に把握し、教科指導における実践的・実証的な研究を進める。その研究成果は、公開研究発表会等を通し、他の小中学校の指導内容・方法の改善に生かす。
【令和6年度 研究推進校：吉野小学校 敷戸小学校 植田中学校 植田小学校 丹生小学校 植田西中学校】
- ② 標準学力調査の実施
標準化された学力調査を実施し、子どもの学力の状況を客観的に把握・分析することにより、各学校における継続的な指導の工夫改善に生かす。

◆令和6年度大分市標準学力調査（予定）

校種	実施学年	実施教科
小学校	4	国語、算数、理科
中学校	1	国語、社会、数学、理科、英語

さらに、県主催（小5：国語・算数・理科、中2：国語・社会・数学・理科・英語）と国主催（小6：国語・算数、中3：国語・数学）の学力調査結果も活用することにより、小学校第4学年から中学校第3学年までの国語、算数（数学）、理科等の各教科について、子どもの学年進行に応じた多面的な実態把握及び継続的な指導を行う。

③ 指導資料及び分析シートの作成及び活用

各種学力調査における本市の教科別の偏差値や平均正答率等の結果、分析・考察、授業アイデア例などをまとめた指導資料及び分析シートを作成し、各学校の学力向上会議や教科部会等における活用を通して、確かな学力の定着・向上を図る指導の充実・改善に生かす。

（3）大分っ子学習力向上推進事業

- ① 個別指導や習熟度別指導を行う非常勤講師を配置する。
○小学校19校に配置（算数科、国語科等の指導及び補充指導等）
- ② 小学校の複式学級において、学年別や課題別の指導を行う非常勤講師を配置する。
○複式学級を有する小規模校4校に配置
※①、②について、計24名を配置

（4）「大分市授業力向上ハンドブック」等の活用

「大分市授業力向上ハンドブック」等を校内研修等で活用し、確かな学力の定着・向上を図る。

（5）「大分市小学校英語教育推進ハンドブック」実践事例集等の活用

「大分市小学校英語教育推進ハンドブック」実践事例集等を活用し、「外国語科」及び「外国語活動」の指導の充実を図る。

（6）大分市教育センターにおける各種研修の充実

- ① ミドルリーダー研修、中堅教諭等資質向上研修等を通し、中核となる教員を育成する。
- ② 主幹教諭研修、研究主任研修等を通し、分掌担当者としての資質能力の向上を図る。
- ③ 教科等研修及び大分大学教育学部との連携による授業力向上セミナー等を通し、教員の授業力の向上を図る。

（7）授業力向上アドバイザーによる授業公開及び教員の授業力の向上

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する力の向上を図る取組を行う。
- ② 授業力向上アドバイザー配置中学校区等における取組の充実を図る。
○小中一貫教育の推進
○中学校区等における若手教員の授業力向上に係る指導・助言
○中学校区等の各学校の学力向上プランの把握、進捗状況の確認及び改善
○中学校区等合同会議、合同研修会等の立案、運営
○各学校の学力向上会議への参加

- 各種学力調査結果の継続的な分析及び指導方法等の提案及び指導・助言
- 中学校等教員の専門性を生かした乗り入れ授業等の計画、実施
- 中学校区等の取組状況、成果等を広報紙等で保護者、地域に発信
- アンケート調査の計画、実施、集約及び分析
- 公開研究発表会の立案等
- 市内小学校等の外国語科及び外国語活動の指導の充実

(8) 学校図書館の活用等による読書活動の推進

- ① 司書教諭、図書館担当者研修等の充実を図る。
 - 司書教諭研修、図書館担当者研修、学校図書館支援員研修会を実施する。
 - 図書館教育推進校において研究の推進及び成果の還元を行う。

【令和6年度 2年次推進校：竹中小学校 宗方小学校 丹生小学校 判田中学校 坂ノ市中学校】
- ② 市内全小中学校に、司書教諭等の業務を支援する学校図書館支援員を配置する。

(9) 生き生き学習サポート事業

子どもの学習意欲の喚起や自ら学び自ら考える力などの生きる力を育むため、専門的な知識、技能、技術や豊富な経験を有する外部人材の活用を支援し、学校・家庭・地域社会が一体となった多様な学習活動を展開する。

(10) 管理職、教務主任等を中心とした校内指導体制の充実

管理職等を中心とした校内の指導体制の充実を図り、教員の授業力の向上、校内研修の充実等に努める。

- ① 管理職等による授業観察及び指導
- ② 授業公開、互見授業による授業力の向上
- ③ 各種学力調査結果の分析・考察に基づく学力向上プランの作成及び学力向上会議の実施
- ④ 指導主事の派遣による校内研修の充実

(11) 教科指導マイスター派遣事業

経験豊富で実績のある退職教職員を「教科指導マイスター」として各中学校等に派遣し、教科指導に関する指導・助言を行い、教員の授業力を向上させることにより、生徒の学力の定着・向上を図る。

【令和6年度：国語科5名 社会科4名 数学科4名 理科3名 英語科2名】

(12) 放課後等を活用した補充指導及び個別指導の充実

補充指導や個別指導の充実に努め、基礎的・基本的な内容の定着に努める。

(13) 積極的な学校公開及び情報提供

地域とともにある学校づくりを推進する上から、各学校の実態に応じて自由参観日やオープンスクール等を積極的に行うとともに、学校便りや学校ホームページ等を通じて教育活動の様子などの情報提供・発信に努める。

5 豊かな心の育成

家庭、地域社会との連携強化を図り、道徳科を要として、学校の教育活動全体を通じて豊かな人間性や社会性を育む道徳教育を推進する。

(1) 指導主事の派遣による道徳科の授業研究

市内全小中学校等に指導主事を派遣し、授業研究等の校内研修を実施する。

(2) 「大分市道徳指導ハンドブック」(改訂版)の活用

「大分市道徳指導ハンドブック」(改訂版)を活用し、心に響く魅力ある道徳科の授業実践を行う。

(3) 保護者、地域住民への道徳科の授業の公開

「おおいた教育の日」の取組の一環として、道徳科の授業を公開することにより、家庭、地域社会と連携し、子どもの道徳性の育成に努める。

6 各種学力調査の実施予定教科

<各種学力調査>

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------|
| ○全国学力・学習状況調査 | 小6：国語・算数 | 中3：国語・数学 |
| ○大分県学力定着状況調査 | 小5：国語・算数・理科 | 中2：国語・社会・数学・理科・英語 |
| ○大分市標準学力調査 | 小4：国語・算数・理科 | 中1：国語・社会・数学・理科・英語 |